

【原文】

中西医结合研究的关键问题与实践探索

唐旭东

中国中医科学院西苑医院脾胃病研究所所长

当今时代，对于中医从业者、对于中医药行业来说，存在着“中医向何处去”的这么一个叩问，也就是我们如何传承和发展中医学，我个人认为中西医结合是中医学学术发展的不可或缺的重要路径。在现实中，中医学在明确临床诊断与预后风险上、在取得国际认可的临床疗效评价上、中药作用机制的科学阐释上，中医学必须结合现代医学；从临床实践与方法论看，中西医结合具有可行性、互鉴性和辨证统一性。

当前，中西医结合研究的策略以及须解决的关键问题包含一下几个方面：

- 其一 临床疗效的评价上，循证证据的支持非常重要，不可勿缺，只有这样才能让中医药得到更为广泛的推广和应用
- 其二 从脾胃病临床看，传统理论及其诊治技术是可以提高胃肠难治病的疗效的，存在着独特的优势
- 其三 应进一步深化创新脾胃病理学的认知，并科学地阐释其机制（科学内涵），凸显中医理论指导的意义。

在建国后半多个世纪的中西医结合研究的实践探索上，取得了丰硕且卓越的成果，特别是七、八十年代以来，中西医结合成果尤为卓越，譬如青蒿素抗疟有效成分的提取、血瘀证与活血化瘀、砷制剂与白血病治疗等等。

中医学与中西医结合研究的未来发展，应该注重传承与创新互动发展，没有好的传承，也不会有好的创新发展；没有创新与发展，中医理论就得不到进一步的充实和丰富。一方面，中医学理论在短时间内还很难用现代医学理论去替代它，譬如马齿苋、地锦草、蒲公英、紫花地丁都具有清热解毒、抗菌消炎的作用，按照药理学机理，把这几个药都用上就可以提高细菌性痢疾、溃疡性结肠炎的疗效，实际上则不然，清利湿热的芍药汤的配伍特点“调气则后重自除”、“行血则便脓自愈”体现了中医理论指导的重要性。另一方面，必须通过深入的中西医结合临床实践、病证结合研究的总结，必须通过采用系统生物学、多组学、现代药物代谢动力学的多学科研究手段，才能提高中医临床诊治水平、深刻地阐释中医药疗效的机制-中医理论的科学内涵与中药复方疗法的作用机制。

中西医結合研究の重要な問題と実践的な探求

唐旭東

中国中医科学院西苑医院脾胃病研究所 所長

今の時代において、中医従事者と中医業界にとって、「中医はどこへ向かうべきか」という問題が存在している。つまり中医学をどのように伝承と発展をさせるか。私個人の見解では、中西医結合は中医学学術発展の避けては通れぬ重要な道だと思う。実際、中医学は臨床診断の明確さと予後リスク、国際的な認証を得た臨床治効評価、中医作用と仕組みの科学的説明、どれも現代医学との結合が不可欠である。臨床実践と方法論からみれば、中医学と西洋医学の結合は実行可能性、相互参考性と症候統一性がある。

今のところ、中西医の結合研究の策略と解決すべき肝心な問題は以下の方面が含まれている。

- 其一 臨床治効の評価では、エビデンスの支持はとても重要であり、不可欠で、エビデンスを示すことで中医薬を広く普及させ応用される。
- 其二 脾胃病の臨床から見ると、伝統理論とその診断治療の技術は胃腸難病の治効を上げられるので、独自のアドバンテージがある。
- 其三 脾胃病理論の認識をさらに深め、科学的にその仕組み（科学内因）を解明し、中医学理論指導の意義を明らかにする。

建国以来半世紀以上にわたり中西医結合研究の実践的な探索をした結果、卓越した豊富な成果を得ることができた。特に七、八十年代以来、その成果は著しい。例えば抗マラリアの有効成分であるアルテミシニンの抽出、瘀血証と活血化瘀、ヒ素剤と白血病の治療などが挙げられる。

中医学と中西医結合研究の未来の発展は、伝統継承と革新をともに発展させることを重んじるべきである。良い伝統継承がなければ、良い革新的な発展もないだろう。革新と発展がなければ、中医理論がさらに充実し、豊かになることはできない。一方で中医学理論は短期間では現代医学の理論に置き換えることが難しい。例えば、馬齒莧、地錦草、蒲公英や紫花地丁などは清熱解毒、抗菌消炎の作用があり、薬理学の理論では、これら全部使えば細菌性痢病と潰瘍性結腸炎の治効を上げられるはずである。しかし実際にそうではない。清利湿熱の効用を持つ芍薬湯の配合の特徴は“調気すれば後重は自然となくなる”、“行血すれば膿は自然に治る”で、中医学理論指導の重要性を示している。また、中西医結合の臨床実践を深め、病証結合研究を総括しなければならない。系統生物学、マルチオミクス、現代薬物代謝動態学など多科学研究手段を用いてこそ、中医の臨床診療レベルを上げられ、中医薬治効の仕組み－中医理論の科学的含意と中薬複方療法の作用機序を解明できる。